



この施策は、サステナビリティを経営の基盤に位置付けている阪神高速グループが取り組むべき重要課題の一つ「サステナブルなまちづくり／社会貢献活動の推進」の実現に向けたものです。

2026年度 阪神高速若手研究者助成の決定について

阪神高速道路株式会社(大阪市北区、代表取締役社長:上松英司)は、一般財団法人阪神高速先進技術研究所及び一般財団法人阪神高速地域交流センターとともに、若手研究者の育成に寄与する社会貢献の一環として、2018年度から「阪神高速若手研究者助成基金」を設け、募集のうえ助成金を支給しています。

2026年度については、2026年5月13日から7月17日まで募集を行い、構造物、交通および情報科学などの幅広い分野から計19件の応募をいただきました。これらを社内選定委員会において厳正に審査した結果、次の4件の研究(計600万円)に助成することを決定しました。

研究課題名	所属	職名	氏名
機械学習を用いた道路モニタリングの効率的な再学習に関する研究	金沢大学 融合研究域融合科学系	助教	八木 雅大
橋梁補修現場におけるクリーンレーザー塗膜除去品質安定化のための AI 照射距離判定システムの開発	立命館大学 理工学部機械工学科	准教授	南部 紘一郎
Physical AI による都市高速道路向け状態推定型リスク認識技術の基礎検討	京都大学大学院 工学研究科社会基盤工学専攻	特定 准教授	西野 朋季
UV 蛍光粒子による地盤変位計測技術の開発および鋼管矢板基礎の内周面摩擦力発現機構の解明	摂南大学 理工学部都市環境工学科	准教授	寺本 俊太郎

研究課題名の50音順

なお、これらの研究成果については、2028年6月頃、HP等で公表する予定です。